

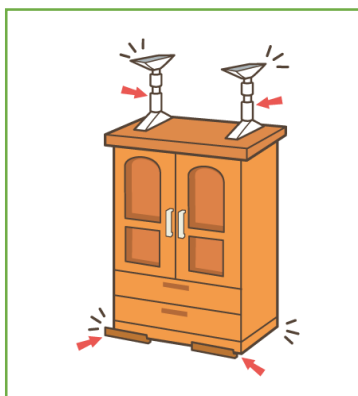
## 災害ごみを出さないために日頃から気を付けることは？

地震などの大規模な災害が発生すると、家や建物などが壊れ、膨大な量の木くずや崩れたブロックなどが発生します。家の中でも、大量の壊れた家具や電化製品、水害の場合は水に浸かった畳や車などが一度に大量に発生します。

人命救助やライフラインの確保が最優先ですが、災害後の復興のためには、まずは災害ごみを撤去することが必要となります。その災害ごみを少しでも減らすために今からできることをして備えておきましょう。

### ■家具を固定する

家具や電化製品を壁などに固定し、倒れにくくしておくことで、破損を防ぐことができます。身を守ると同時に、災害ごみを減らすことにもつながります。



### ■いらないものは捨てておく

押し入れや物置にしまい込んでいるものが襖や扉を打ち破り、部屋に散乱するとたいへん危険です。片付けの労力・手間も余分にかかります。ブラウン管テレビ、古いパソコン、乗らなくなったバイク、廃タイヤなど、不要なものは普段から整理しておきましょう。

### ■小物類の飛び出し防止

食器棚の扉や引き出しに耐震ラッチ(揺れを感知して扉をロックする金具)を設置しましょう。地震時に扉が開いて食器などの中の物が飛び出さないようにし、破損やケガを防ぎます。

